

# 案内

光円寺 みんなで 境内の剪定・清掃奉仕

八月二十八日(日) 午前八時〜

光円寺パソコン教室

九月二十日(火) 午前十時〜 参加費五百円

光円寺 定例 同朋会 **今月はお休みです!**

戦争体験を語り継ぎ平和を守る集いたぶん 姫路市市民会館中ホール

八月二十八日(日)午後一時より 姫路空襲、東京空襲、広島原爆、フ

イリピン戦場それぞれの体験者の方のお話

光円寺 山の家 新月・満月の会

新月:八月二十九日(月) 満月:九月十二日(月) 要連絡

光円寺・山の家 五周年・知久寿焼ライブ

九月十日(土)

十四時オープンング

アクトじゆな 十

五時ライブ開始

参加費二千五百

円(お茶おかし付

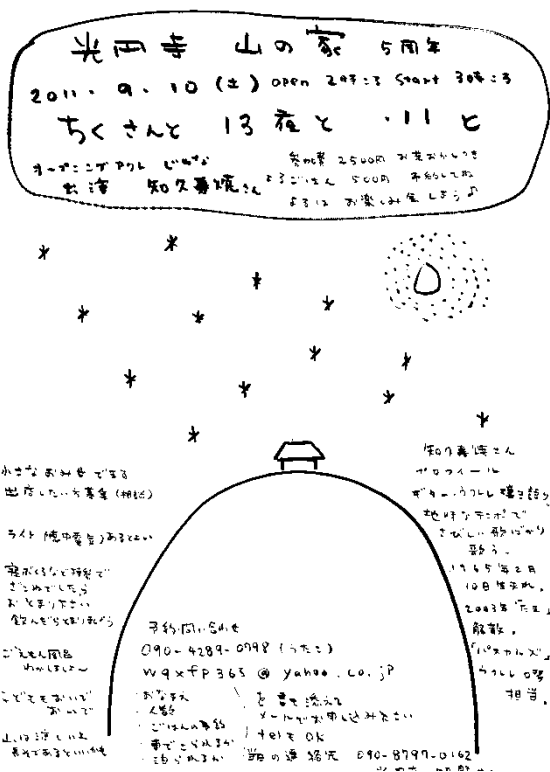
き)、晚ご飯五百円

どちらも要予約。

申込、問い合わせ

09042890

798(うたこ)



編集後記 昨日は、敗戦・終戦後・六十六回目の十五日でしたね・・・毎

年八月は、核や戦争・平和について、否応なしに考えさせられる、過去に目をやり、

未来に思いを馳せ、現実を問い返す・・・そんな意味のある「月」なんでしょうね!!

で、今日はある、門徒さんの「五十年の法事」を勤めました。一九六一年(昭和三十

十六年)四月十六日に四十六歳で亡くなってはりました。その人は、南方に行つて

はって、戦地から敗戦後帰郷。その後十六年たって、戦地に行っていた時にマラリ

アに感染してはって、それが原因で亡くなられたのです。十六年間時々発作?が起  
こり、全身がブルブル震え、いくら布団をかぶせても震いが止まらなかったそう  
す。それを、奥さんや、息子さんもよく覚えてはって、亡くなられる一週間ほど前  
に、姫路の病院を村の工医師から紹介され入院させたが、それが最後になってしま  
った:と。見舞いに行つても面会させてもらえなかったそうです。そんなこんな  
話をしながら、結局・亡くなりはったNさんは、戦争で亡くなりはったんやと。直  
接戦地での戦死ではないが、戦争に徴集され、戦地でマラリアに感染した。その病  
気が原因で亡くなる。これはやっぱり戦死ですよ。命が助かって無事故故郷に帰る  
ことが出来た人の中に、こんな風に亡くなった人は、一体どれだけいてはったので  
しょうね? 帰郷後の戦死の人が・・・Nさんは、軍人恩給が貰える条件が満たされ  
ていなくて、何の補償もなかったそうです。これって、ほんとにひどいことですよ  
ね!!! (明)

希望は見たいけれど、絶望は見たくない。そんなあり方を問われている気がし  
ます。その生き方の記憶の間に折り重なった絶望は、今、目をそらすことのでき  
ない私たちの身近な日常の前面へと歩を進めています。誰かの絶望はやがて自分  
自身の絶望となる。苦悩は共有される時に半減し、されない時に倍増する。なぜ  
ならいのちはつながっているから。「地獄は一定すみかぞかし」と言われた親鸞  
聖人と共に、絶望を歩くには念仏がなくてはなりません。私たちが選択するので  
はなく、そういった私たちの生き様を見越した如来からの選択として、念仏が与  
えられていたのだと、つくづく身に沁みて教えられます。

この一カ月に出会ったものは言葉にはし切れないものだった。何とか紙面に収  
めて行くこうとしていられるうちに、お盆突入。苦肉の策で八、九月合併号を思い立っ  
たのはいいけれど、倍の量になってしまい、気力体力の限界。濃くなり過ぎた:  
読む方も大変:と。どうぞ日常という水で薄めて読んで下さい。私は集中しすぎ  
て、日常お留守で物忘れ、失敗:オンパレード。残念です!ごめんなさい!

でもこの寺報は今月から、福島双葉町の栢本洋子さん、福島氏の佐藤幸子さん  
にも送らせていただく。お二人の日常はどうなのだろう、薄める日常という水は  
あるのだろうか。いつか尋ねたい。明後日から三日間山の家へ来る福島キッズと  
出会うのが楽しみです。つながるつながる。

(惟)